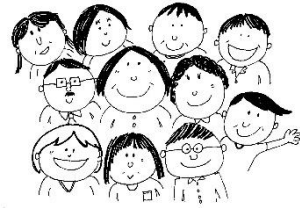


地域住民で葉山の子どもたちのためにできること

シンポジウム・交流会 2023.9.22
子どもを見守る仲間たち～団体等一覧～

シンポジウムに登壇した団体や、60秒のアピールタイムで発表された団体を掲載しています。各団体の活動を知り、今後の葉山での子どもたちを支援する活動をさらに進めていくための横のつながりづくりに役立てていただければ幸いです。みんなで葉山の子どもの育ちを応援しましょう！



<シンポジウムに登壇した団体>

葉山子どものための人材バンク

【代表】坂本 直子さん

【連絡先】✉ hayama.jbank@gmail.com

【HP、SNS】
  

【活動場所】町内小中学校 他

【内容】子どもたちが地域住民と触れ合い、自分らしい生き方を思い描ききっかけを作るため活動。学校などからの依頼により適した人材を派遣します。子どもの成長と学びを支えたい方大募集中！

一般社団法人 Telacoya921 (旅する小学校)

【代表】中尾 薫さん

【連絡先】895-6841

✉ info@hayama-tabishou.com

【HP、SNS】
 

【活動拠点】旅する小学校 (葉山町長柄 556)

【内容】「海から学ぶ 日本という島のこと 暮らしのこと 経済のこと 世界のこと」をコンセプトに、葉山からの新しい学びを大切にしたい小学校です。

認定 NPO 法人 オーシャンファミリー

【代表】堀 龍太さん

【連絡先】876-2287 ✉ info@oceanfamily.jp

【HP、SNS】
  

【活動拠点】葉山町下山口 1741

【内容】主観を大切に「海・山・火・食」の体験を通して、自然の素晴らしさと大切さを感じ、自分もこの自然の循環の一部だという事実に触れる体験教育を行っています。

はやま食卓プロジェクト実行委員会

【代表】清水 明絵さん

【連絡先】✉ shokutaku.hayama@gmail.com

【SNS など】
  

【活動場所】葉山町内

【内容】“食”を中心として「働く親や子育て中の親の手助けとなること」をテーマに立ち上げられたプロジェクトです。こどもが一人で食べに来られる場所作り、こどもが安心して食べられる食材の提供を目指したこども食堂を葉山で開催しています。

みんなで見守る葉山の子実行委員会

【代表】山本 久美子さん

【連絡先】✉ info@hayama-kids.com


【HP、SNS】
 

【活動場所】特になし (メンバー宅や他スペース等)

【内容】子育てする方に役立つ活動をしている葉山や近隣の団体等を取材し HP に掲載しています。親御さんと一緒に、勉強会や茶話会などを通して地域で子育てする一助になればと活動しています。

一色中央子ども会 OG

【連絡先】✉ ickyakuin@gmail.com

【HP、SNS】


【活動場所】一色小学校 体育館など

【内容】様々な学年の子ども達が地域のサポートを受けながら元気に楽しく活動中。少し年上の子と交流したい時、保護者の手が足りない時、OBOG その保護者がヘルプに行けたら最高！そんなスタンスで現役の子ども会をこっそり見守っています。

<60秒アピールタイムで発表した団体等> ※希望する団体のみ連絡先を掲載しています。

1. 葉山町議会／石岡 実成さん 876-1111 (葉山町議会事務局)
議員との意見交換の要望あればぜひあげてほしい。日程を合わせて皆さんと意見交換の場をもちたい。議会の公聴機能を活用してもらえたらと思う。
2. パークド葉山四季自治会子ども見守り隊／板垣 雅夫さん
300世帯の自治会で、10年ほど前に警察から子どもの見守りの依頼があり、活動開始。私は9年間活動。最初は通学路に不審な駐車や変なおじさんがいたが、一切なくなり見守りの効果があったと思う。昨年の小学1年生が4名、今年は9名と増え、非常にやりがいをもっている。課題は、見守りの担い手4名のうち2名が80代と高齢なこと。
3. HITOPHOTOWORKS (ヒトフォトワークス)／上田 仁さん ☑ hitoshi.ueda@hitophotoworks.com
上記屋号でフォトグラファーをしています。メインは幼稚園・保育園のイベント撮影。写真を通じて町になにかできないか模索。町内会ではお祭りやハロウィンでの無料フォトブース撮影をしました。また小中向けの大手塾講師にて10年ほど塾長含め経験があります。指導経験は1000名以上です。子どもたちの学力フォローや不登校のかたのフォローなどでお力添えができればいいかなと思っております。こちらのほうが需要ありそうですが、無理しないスタンスです！お気軽にお声がけください。学習フォローについては来年度なんらかのアクションを検討中。
4. はやま里づくりクラブ／小磯 亜紀子さん ☑ ta2o.masuda@gmail.com (代表増田氏)
葉山町に住む子どもを持つ親が中心になって結成されたグループです。葉山の自然と向き合い里山や里海を大切にしながら仕事/活動をする大人たちを講師に迎え、親子向けワークショップを開催しています。仕事の現場を体感したり、講師の熱い想いに共感したりする中で、子どもたちとその保護者が持続可能な社会について考え、行動を起こすキッカケとなれば幸いです。運営メンバー募集中！
5. 葉山町教育委員／清水 衣里さん
葉山町教育委員に昨年就任。まちづくりの中のアートコンサルという仕事をしており、文化施設や商業施設を手がけてきました。葉山で子育て中で、娘は「Telacoya921」出身で、「オーシャンファミリー」の活動に参加し、「子どもの食卓」でご飯を食べさせてもらっている。私個人としても葉山の教育に非常に貢献したいと思っています。葉山町教育委員会は『楽校をつくろう』を合言葉に、ワクワクする学びを得られる学校運営を推進しています。本日もご出席の皆様をはじめ、地域のご協力、ご理解を得て実現できればと思いますので、よろしくお祈りします。
6. 多機能型事業所 hanto／杉野 仁さん ☑ hitoshisugino0@gmail.com
障害者の親の会の役員をしている。昨年堀内に障害者の事業所を立ち上げた。事業所は、土日や夕方などは部屋として使えるので色々な形で活用してもらえたらと思う。障害者の持つ特性として、接する相手を優しくする心を育むということがあるので、できるだけ多くの人に障害者と触れ合ってもらいたい。
7. 葉山町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター／高波 紀子さん ☑ horiuti.hayama@gmail.com
堀内地区の生活支援コーディネーターとして動いている。堀内地区では色々な団体が繋がり活動しているが、「みんなの貯筋実行委員会」という多世代の活動が推進されている。その中で「みんなの畑」という地域の菜園が推進されていて、もっと多くの方に関わってもらい、地域の支え合いにつながっていったらいいと思う。今週40代のお父さんが畑を耕してくれているが、子どもたちも交えて関わってもらいたい。
8. うみとやまのこどもとしょかん／植田 由賀さん ☑ umiyama.cl@gmail.com
8年前「Telacoya921」中尾さんの一言で始まり、子ども達に本を届ける活動をしている。子ども図書館を作ったり、移動図書館をしていたが、10月から「小さな本箱プロジェクト」として、町内にたくさん本箱を設置し、本箱から自由に本の貸し借りができるようにしたい。お近くで見かけたらぜひご活用ください。

い。子どもが成長して読まなくなった本の寄贈も受け付けている。たくさんの本に出会う町にしたい。

9. 認定 NPO 法人 葉山まちづくり協会／事務局長 畑野 真人さん 876-0421

7月から事務局長に就任。図書館2階に事務所を構え、「まちづくり館」としてオープンなスペースがあり、会議スペースや市民ギャラリーとなっている。もし出展や場所の利用の希望があれば声掛けてほしい。ITサポートを実施していますので、これからNPOを立ち上げたい方、何か活動をしたい方、活動をしているがデジタル化が出来ない方など、何でもご相談ください！

10. プレーリヤカー、イル／得原 藍さん ✉ playhayama@gmail.com

小さな子を持つ家族が集まって地域と親しむ場所を提供しています。豊かな自然でのびのび遊んだり、美味しいご飯を食べながら語り合ったりしましょう。月1回第4水曜日午前中、森戸海岸で「プレーリヤカー」の活動をしている。「プレーリヤカー」は、子どもの移動遊び場みたいなもので、テントと飲み物を用意して0~2歳くらいの子もたちが外で遊ぶ機会をもとう！・・という活動。明後日まちづくり協会との合同イベントで午前中森戸海岸にいますので、話を聴きたい方がいたらぜひお越しください。また第2・4金曜日に、風早茶房で、秋山さんが、0~2歳の子もたちとお母さんたちが集まれる居場所「イル」を開いている。0歳の頃から町で見守っていきこうという活動。ぜひ皆さんいらしてください。

11. HAYAMA 居場所プロジェクト／若杉 香利さん、羽柴 亜紗子さん ✉ youth.hayama@gmail.com

葉山にも不登校や家庭的経済的事情でフリースクールにも行っていない子たちがいます。学校へ行っている子もいない子も来られる居場所、また経済格差によって、利用格差や、引いては教育格差が生まれないう、利用者負担のない開かれた場を葉山の地域の大人たちで作りたいと考え、設立しました。

葉山町の青少年が登校や所属の有無を問わず、みな同じ「葉山の子」として安心して過ごせる地域の居場所として、また居場所をベースに子ども・若者の探究（知りたいやりたい）や、同世代・異世代の交流を支援する場として活動していきたいと思えます。

12. 不登校・ひきこもり家族会「ゆずり葉の会」／橋本 由美子さん ✉ zushi.yuzurihanokai@gmail.com

葉山と逗子でひきこもり・不登校の家族会と個別相談をしている。不登校の子どもは決して甘えたり、怠けたりしているわけではない。時として身を守る、命を守るため、また自分の可能性をもっと広げるために学校から距離を置いている。文科省も数年前から不登校対策に「学校復帰」という文言をいれなくなった。そんな中、私達の会は、我が子をどうやって理解し、寄り添い見守っていくのか、一人で悩まないで皆で集まって話し合う、気持ちを共有して一緒に考える、そして親自身も育っていくことを目指している。

13. 社会福祉法人 幸保園／平野 雅己さん 875-1268

一色にある児童養護施設「幸保愛児園」です。児童相談所が家には返せない子どもたちが、生活をしている。子どもたちに色々な経験をさせてあげたいと思っており、色々な皆さんに支えられている。サッカークラブに入れてもらったり、「Telacoya921」の企画に無料で参加させてもらったり、民生委員さんが夏祭りで焼きそばを焼いてふるまってもらったりしている。皆さんが持っている企画に、誘ってもらえたら嬉しく思う。10/22に児童の虐待防止を呼び掛ける「オレンジリボンたすきリレー」を実施。昔は町長も走ってくれた。走りたい人がいたらお知らせください。

14. わかり・あ／有川 文乃さん

https://instagram.com/hayama_wakaria?igshid=NzZlODBkYWE4Ng%3D%3D&utm_source=qr

「ありかわ」を逆から読むと「わかりあ」になる。「わかり・あ」というのは「ああ！わかった！」という意味。先ほども話に出ていた「障害って何？」という時に、知らない人が多いので最新情報を一緒に勉強し、自分のために、子どものために、周りの人のために、みんなでつながるために、「あたたかく理解する」「本当のことを知る」「自分ごととして考えられるように」活動している。ぜひ皆さん集まってください。

15. アンバイサー養成講座／松本 久美子さん、ロドリゲス 真理さん

「Telecoya921」が運営している「アンバイサー養成講座」をPRしたい。アンバイサー養成講座の一期生です。2019年にスタートして今4期生。一年を通して子どもへの見守りをじっくり、楽しく学ぶ。子育てに関係していない人でもすごく楽しめる講座なので、ぜひ興味を持っていただけたらと思います。子どもは一人ひとり全員違うという話があったが、子どもを観察力がとても育つ講座です。

16. 一般社団法人 アマヤドリ／理事 宮本 久美子さん

生まれ育った葉山で子育てをしながら、もっと安心して過ごせる町にしたいと様々な活動をしている。現在の日本の法律では18歳で大人となる。しかし、実際に18歳で一人で生きていくのは難しい。家庭を頼れない若者たちが制度の狭間で孤立・困窮している現実がある。アマヤドリでは、その苦しんでいる若者たちに相談・伴走し、住まいの提供もしている。そういった若者たちをこれ以上増やしていかないためにも、本当の意味での親子の信頼関係を築いていけるよう、他の活動では性教育、防犯、命の大切さを伝えている。

17. 日本防災士会神奈川県支部葉山、葉山災害ボランティアネットワーク／矢嶋 恵子さん

葉山には、防災士会、葉山災害ボランティアネットワーク、赤十字奉仕団と防災・災害支援関係の団体がある。当初人材バンクのことを聞いたときには、防災は関係ないと思ったが、4月頃人材バンクから依頼を受け、一色小学校で防災関係の団体が子どもたちに「逃げ地図（避難経路と避難時間を地図上に可視化する）」の取り組みを行った。上記防災3団体はシニアが多いが、できれば子どもの頃から防災に努めてもらって、自分の命は自分で守るということを感じてもらいたい。できることがあれば声かけてもらえれば喜んで参加させていただく。

18. Illumination Laboratory／安木 千夏さん ✉ chinatsu@illumi-lab.com

普段はパーソナルコーチング（ビジネス&ライフ）やワークショップのデザイン&提供をしています。自分にどのような問いを投げかけるかはその人の人生に影響します。どうありたいのか、どのような人生を歩んでいきたいのか？自分で自分の人生を描き、歩いていく過程を伴走しています。「マタニティリープ」を届ける活動では、普段周囲の人を応援することを得意とするママたちが、自分自身のことを応援するという事を支援しています。葉山というたくさんの方にお世話になっているコミュニティーに何かお返しが出来れば、と思って参加させて頂きました。

19. ネイチャークラブ「うみにわ」／小川 真美さん ✉ uminiwa.natureclub@gmail.com

「オーシャンファミリー」でスタッフをしながら、3月までは「ヒミツキチ森学園」というオルタナティブスクールで先生をしていた。体が空いたのでご縁のある葉山に何かできないかと、「うみにわ」という自然遊びのグループを立ち上げた。虫から魚から貝など生き物が大好き。生き物大好きな子どもたちに海を庭のように遊んでほしい、という思いで「うみにわ」というチームを作った。これから釣りをしたり鳥をみたりしながら、たくさん自然の生き物と触れ合っていきたい。

<作成>

社会福祉法人 葉山町社会福祉協議会

240-0112 葉山町堀内 2220 葉山町福祉文化会館内

TEL 046-875-9889 FAX 046-876-1873 ✉ shakyo@hayamashakyo.com

<協力>

葉山子どものための人材バンク

✉ hayama.jbank@gmail.com